日華化学株式会社
NICCA CHEMICAL CO.,LTD.

Corporate Profile

日華化学株式会社
NICCA CHEMICAL CO.,LTD.

〒910-8670 福井県福井市文京4-23-1　TEL.0776-24-0213　FAX.0776-21-9227

会社概要

創　　立	1941年9月15日
資 本 金	28億9,854万5千円
事 業 内 容	1. 繊維工業用界面活性剤の製造、販売 2. 金属、製紙、塗料、染料、合成樹脂用界面活性剤の製造、販売 3. クリーニング、業務用洗剤の製造、販売 4. 化粧品・医薬品の製造、販売
代 表 者	代表取締役 社長執行役員　江守康昌 代表取締役 副社長執行役員　龍村和久
株 式 上 場	東京証券取引所プライム市場及び名古屋証券取引所プレミア市場
国 際 規 格	ISO9001、ISO14001、ISO22716、ISO45001　認証取得

当社の詳細についてはウェブサイトをご参照ください

www.nicca.co.jp　日華化学　検索

表紙デザイン：福井の伝統的な繊維である「羽二重」をイメージしたNICCAイノベーションセンターの外装ルーバーをモチーフとしました。羽二重は縦糸と横糸を交互に交差させる絹織物であり、丈夫で柔らかく高級感のある最上級の絹織物とされています。

写真協力：新井隆弘写真事務所、Nacása & Partners

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C002210

Waterless Printing Naturally 有害物質を含む溶剤・水不使用の水なし印刷

GREEN PRINTING JFPI P-B10234 この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。

世界中のお客様から最も信頼される
イノベーションカンパニーへ

当社は、界面科学と毛髪科学を基盤とし、繊維加工をはじめ、金属加工、紙・パルプ、クリーニングの各業界向け薬剤、また化粧品などをさまざまな分野のお客様に提供する界面活性剤メーカーです。

私たちが創業以来大切にしているものの一つに、「製品を売るにあらずして技術を売る」という信条があります。

その信条の通り、当社は1941年の創立から、創業地福井をはじめ、各国の世界有数の繊維産地を背景に培った技術・ノウハウを活かしながら、お客様とともに課題を解決し、技術やサービスを提供してまいりました。

現在、海外においても９つの国と地域における各拠点を通じ、世界のお客様との対話を大切にしながら、ニーズに迅速かつ確実にお応えしております。

今後も、私たちは世界のお客様の価値を創造するという企業活動を通じて、社会・地球の持続可能な発展に貢献し、世界中のお客様から最も信頼されるイノベーションカンパニーを目指してまいります。

代表取締役社長
江守康昌

暮らしを支える日華化学の技術

身近な暮らしのいたるところに、日華化学の技術が使われています。目に見えず、普段は気がつかないけれど、どこかでお役に立っている。
界面から広がる日華化学のテクノロジーはこれからも快適な暮らしを支え続けます。

世界のアパレルが求める
環境配慮型
撥水加工にも

クリーニング店向けの
洗剤・撥水剤などにも

美容室で使われる
プロ使用の
ヘアケア製品も

カーシートの
難燃加工、
日焼け・色あせ防止
加工にも

ホテルや病院の
リネン洗浄にも

世界初
グロス染料を配合した
ヘアカラーも

環境に配慮した
人工皮革加工にも

環境配慮型の
車両用低温洗浄剤も

衛生的な
生活のための必需品、
ハンドソープなど
手指消毒製品にも

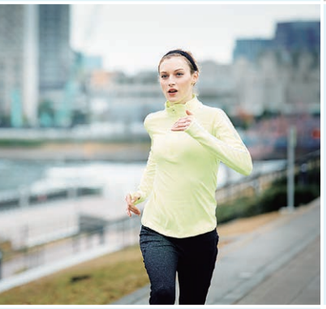
美容室で人気の
キューブ型
スタイリング剤も

カーテンや
カーペット等の
難燃・防汚加工にも

新幹線に使われる
汚れが落ちやすく
環境にやさしい
メンテナンス洗浄剤も

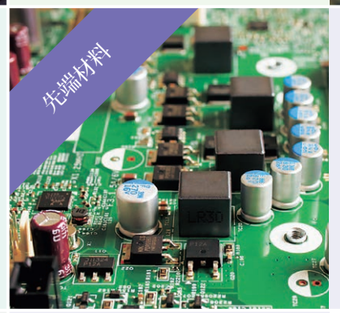
手術中に活躍する
医療用器具等の
洗浄にも

通信販売の
自然派スキンケアも

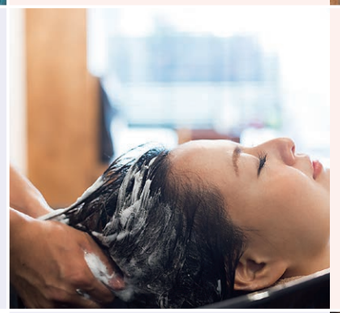


汗を素早く吸収して
スグ乾く、
スポーツウエアの
吸汗速乾加工にも

雑誌・新聞紙の
リサイクルに不可欠な
インクを取り除く
脱墨加工にも



デジタルデバイス
などに使われる
先端材料も



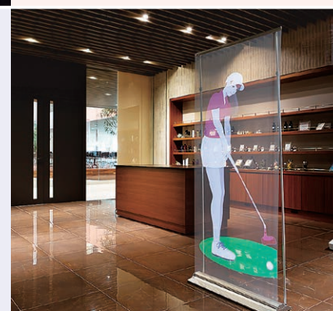
美容室・サロンでの
ヘッドスパ用
シャンプーや
オイルなども

汗のニオイや
菌の繁殖を抑える
肌着の
抗菌消臭加工にも

航空券や
乗車券など
さまざまなチケット類の
感熱紙にも

半導体
シリコンウエハー加工に
使われる
各種加工薬剤も

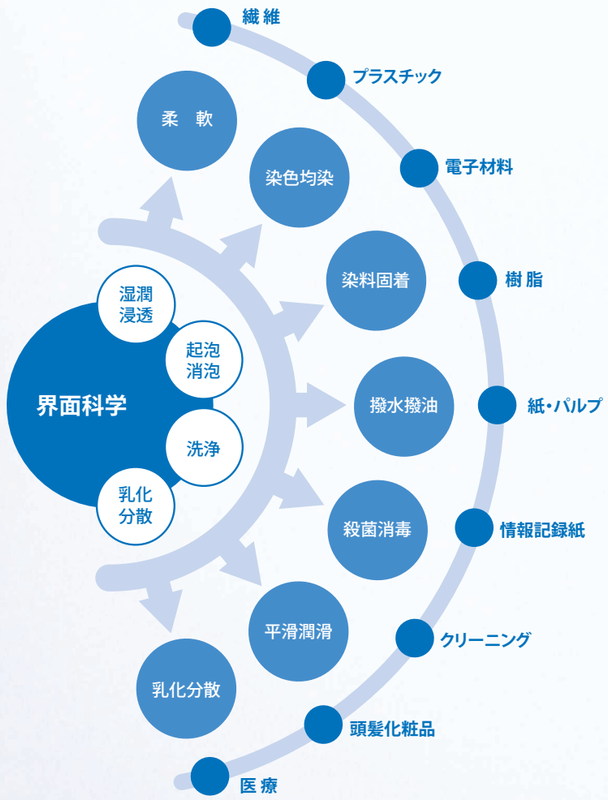
プロジェクター用
透過型スクリーンにも



KEY TECHNOLOGY

界面科学をコア技術として、多様化するニーズに応えていきます。

日華化学のキーテクノロジーは界面科学。界面とは、物質の表面や異なる物質同士の境界面の事です。
この界面をコントロールする機能を生みだす界面活性剤を加工剤というカタチにして、さまざまな用途に広げてきたのです。



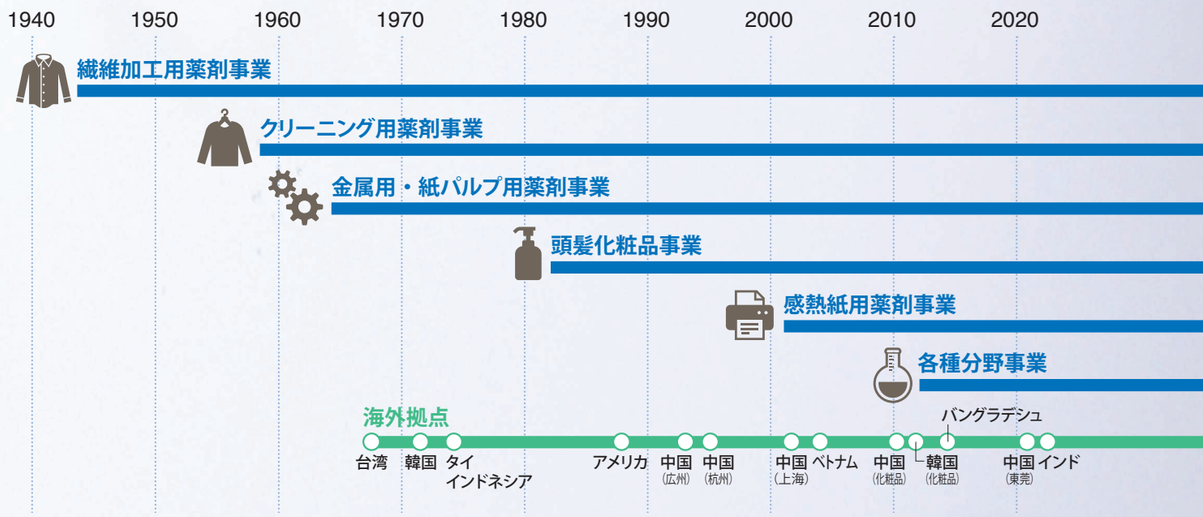
界面科学・毛髪科学・ナノテクノロジーで世界を先導

日華化学は、「湿潤・浸透」「起泡・消泡」「洗浄」「乳化・分散」という界面科学技術を繊維用途中心に追及し、そこで培った技術をさまざまな分野に応用してきました。

この界面科学技術はあらゆる産業で使用され、私たちの豊かな暮らしを支えるのに欠かせないものとなっています。現在は主に繊維、特殊化学品、業務用洗浄剤、化粧品等といった分野に、技術や製品の提供を行っています。

今後は、ナノ材料を用いた新しい用途への応用研究が不可欠となっており、当社では従来の界面科学をベースに、ナノテクノロジーを使った新領域へも展開してまいります。

また、当社グループでは「環境と安全を第一に考え社会的責任を果たす」ことを社員ひとりひとりの行動基準として定め、環境経営に取り組んでいます。環境対応製品の研究開発を積極的に進め、製品のみならずお客様の環境負荷低減も図りながら、環境と社会の変化に積極的に対応しています。



時代が求めるものに、いち早く技術で応えていく

繊維で培った技術を他事業への応用展開をすることで日華化学は成長してきました。1941年の繊維加工用界面活性剤から始まり、その後展開しているクリーニング分野や紙パルプ分野でも、扱う素材は繊維であり、金属用洗浄剤や化粧品も繊維を洗う、または染める技術から発展した事業なのです。

また、繊維産業の発展と共に、技術力を背景に海外へも早くから展開。アジアを中心に現在９つの国と地域に１４の拠点を設け、繊維加工分野をメインに現地での技術サポートはもとより、日本で企画開発し各国で製品販売する等、グローバルに製品提供を行っています。

VISION

オープンイノベーション+ソリューション。
お客様と一緒に新しい価値を生み出します。

私たちの強みは、創業時から磨いてきたコア技術と
蓄積された知見・ノウハウをもとにした顧客密着のソリューション提供です。
お客様が困っている問題や、新たな技術を導入する際などに生じるさまざまな課題を、現場で一緒に考え解決してきました。
繊維加工薬剤からスタートした営業と研究がタイアップした現場重視型の活動スタイルは、
他分野・海外展開においても受け継がれています。
お客様の課題をお客様と一緒に解決していくことに重きを置く、日華化学の姿勢は今後も変わることはありません。
2017年11月にオープンした研究開発の中核拠点「NICCA イノベーションセンター」（NIC）。
界面科学と毛髪科学の２つの研究所を軸に、より一層お客様やビジネスパートナーとの距離を縮め、
社内外の情報やアイデアを組み合わせることで、新しい製品と事業の創出を加速してまいります。

NICCA イノベーションセンター

連携のプラットフォームとして

研究開発型企業として発展してきた日華化学。大学などの教育機関や研究機関との共同研究も早くから行ってきました。

今後も、NICを産官学連携のプラットフォームとして活用し、領域を超えた研究の交流等を活発に行うことで、新領域での事業創出のためオープンイノベーションを推進してまいります。

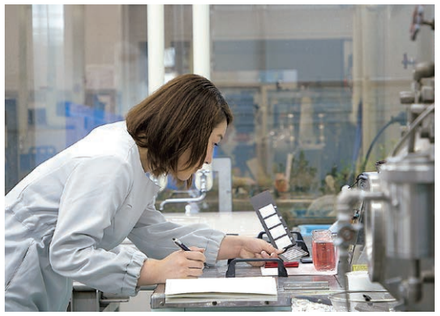
繊維化学品

創業以来培った技術で繊維加工のトータルサポートを提供。世界の繊維産業の発展に貢献します。

繊維産業の中でも、特に世界をリードする日本の繊維加工技術。
日華化学は、紡糸、製織、製編から精練、漂白、染色、捺染、仕上げまでの、
繊維製品が作られる一連の加工工程に不可欠なすべての繊維加工用薬剤を手がけているトップメーカーです。
繊維製品への新たな付加価値提供や環境負荷低減に貢献できる工程・製品開発に取り組んでまいります。

成長を続ける世界の繊維産業とともに

繊維産業の成長をサポートしてきた日華化学の舞台は日本国内にとどまらず、1968年に台湾で最初の合弁会社をスタートさせて以降、中国・東南アジアを中心とした海外でも、現地に根ざした製品開発・技術サービス・現地生産を展開し、日系のお客様はもちろんローカルのお客様へもサービスを提供しています。今後は西南アジアや南米、ヨーロッパへもさらに事業拡大し、成長を続ける世界の繊維産業に貢献してまいります。



繊維加工用薬剤で国内トップシェア

素材、用途に応じて必要な工程が変わる繊維の加工工程。糸の状態から最終縫製品となるまでには、非常に長い工程を経てつくられています。創立以来お客様と共にあらゆる課題を解決してきた当社は、その各工程すべてにおいて豊富な経験を有し、技術サポートを行っています。また、その活動スタイルは海外でも展開しており、国内外のお客様から高く評価されています。

bluesign® SYSTEM PARTNER

ZDHC CONTRIBUTOR

繊維産業の環境負荷低減に貢献

当社グループは、2013年に繊維加工用薬剤メーカーとして日本で初めて、bluesign® system partnerになりました。繊維生産に関わるサプライチェーン全体の、環境、労働者、消費者の安全性向上を目指して取り組んでいます。また、2018年にはZDHC※に加盟。繊維加工サプライチェーン（アパレル・小売・繊維加工メーカー・素材メーカーなど）との積極的な関わり合いを通して、今後も消費者、労働者、環境を持続的に保護することに配慮した繊維加工用薬剤を提供し、ZDHCの理念達成に寄与してまいります。

※ZDHC:ZDHC Roadmap to Zero Programme（有害化学物質排出ゼロプログラム）

特殊化学品／クリーニング・メディカル用洗浄剤

有機合成・高分子・界面制御技術で、さまざまな分野に事業領域を拡大しています。

コア技術である界面科学をベースに、繊維用途での技術を中心に展開してきた日華化学。
その後展開してきたクリーニング分野や紙パルプ分野でも、
扱っている素材は繊維であり、繊維を洗う技術をさらに展開し、金属用洗浄剤等にも事業拡大してきました。
また今後は、培ってきた界面科学の技術をもとに、
ナノテクノロジーといった新領域への技術力を高め、新しい事業への展開を図ってまいります。

有機合成技術を活かし機能材料分野での用途拡大

アルキレンオキサイド（AO）付加技術を中心に、金属洗浄をはじめとする各種産業用洗浄剤、消泡剤、紙パルプ用脱墨剤等を提供しています。また、ファインケミカル事業におきましては高純度ビスフェノールSとその誘導体などの化成品と次々と開発し、感熱紙用顕色剤、樹脂原料としての展開が進んでいます。今後は、こうした有機合成技術を新領域開拓に活かし、さらなる付加価値を提供してまいります。

高分子・界面制御の技術をナノテクノロジーへ

高分子・界面制御技術をもとに、自動車、インフラ分野、ライフサイエンス分野等に、ウレタン樹脂、ポリエステル樹脂、シリコーン、フッ素誘導体や人工核酸等を提供しています。

近年、高度化する市場要求に対応するために、ナノ構造材料を用いた新しい用途への応用開発が不可欠となっております。ナノテクノロジーに欠かせない界面科学の知見を活かし、ナノ粒子、電子材料といった先端材料分野等、さまざまな技術展開を進めています。

業務用クリーニング洗剤のトップメーカーとして

ホームクリーニング業界向け薬剤、リネンサプライ業界向け薬剤のトップメーカーとして常に新しい加工方法・技術を研究開発し、様々な付加価値を有する薬剤を提供しています。また、これらの知見を生かし、より高度な技術と品質が求められる医療器具用洗浄分野にも展開しています。

化粧品

毛髪科学の理論の裏付けにより、髪の健康と美しさを追求しています。

「洗う」「滑りをよくする」「染める」といった繊維の知識と技術を、
シャンプーやトリートメント、パーマ、ヘアカラーなどに応用。
毛髪科学で培った理論の裏付けにより、髪の健康と美しさを追求しています。

美容室専売品メジャーブランド「デミ コスメティクス」

織維加工のリーディングカンパニーである当社の化粧品部門として誕生した「デミ コスメティクス」。美容室専売品の総合メーカーとして、「髪を科学する」というコンセプトのもと、髪の素材を大切にした研究開発を行い、市場ニーズの一歩先をゆく独自性のある商品を開発しています。お客様が求める高品質商品と、多様な教育プログラムの提供などにより、美容業界とサロンの発展に貢献しています。

探求を続ける「毛髪科学研究所」

毛髪科学研究所では、日本人の毛髪・頭皮を科学的に分析すると共に、薬剤や成分についても研究し、画期的な商品開発に繋げています。髪のスペシャリストでもある美容師とも深く連携し、これまでに、ヘアケア剤、スタイリング剤、スキャルプケア剤、ヘアカラー剤、パーマ剤など独自の処方を数多く生み出してきました。 また、各研究機関と共同研究、商品開発を実施し、特許取得や学会発表を行うなど、より良い商品をつくるための探求を続けています。

多様な展開

主力ブランドのデミ コスメティクスは日本国内のみならず、韓国、台湾をはじめとするアジアを中心として、美容業界にグローバルに展開。また、毛髪科学と皮膚科学に基づいたエイジンクケアブランドの「イーラル」、スキンケアブランドの「アンサージュ」をグループ会社にて展開しています。さらに、グループ会社の山田製薬では、ODM,OEM受託により取引先様の新たなビジネス創出をサポートするなど、グループ全体で多様な展開を図っています。

生産技術

国内外を結ぶ生産ネットワークで、世界のニーズに対応しています。

ますます高度化するお客様のご要望にお応えするため、
高品質・高機能な製品をスピーディかつグローバルに開発・生産。
徹底した生産管理のもと、環境負荷低減を図りながら、少量多品種生産にも対応すべく、
フレキシブルな生産システムを構築しています。

研究との連携による高度な生産技術

変化を続ける市場環境の中で、ますます高度化するお客様のご要望にお応えするため、常に生産部門と研究部門が密接に関わり高度な生産技術で対応し、高品質・高機能な製品をスピーディかつ効率的に開発・生産しています。また、国内外の生産拠点をネットワーク化し、同品質の製品をグローバルに、かつスピーディに提供できる体制を構築しています。

徹底した生産管理で安全・安心な製品供給を

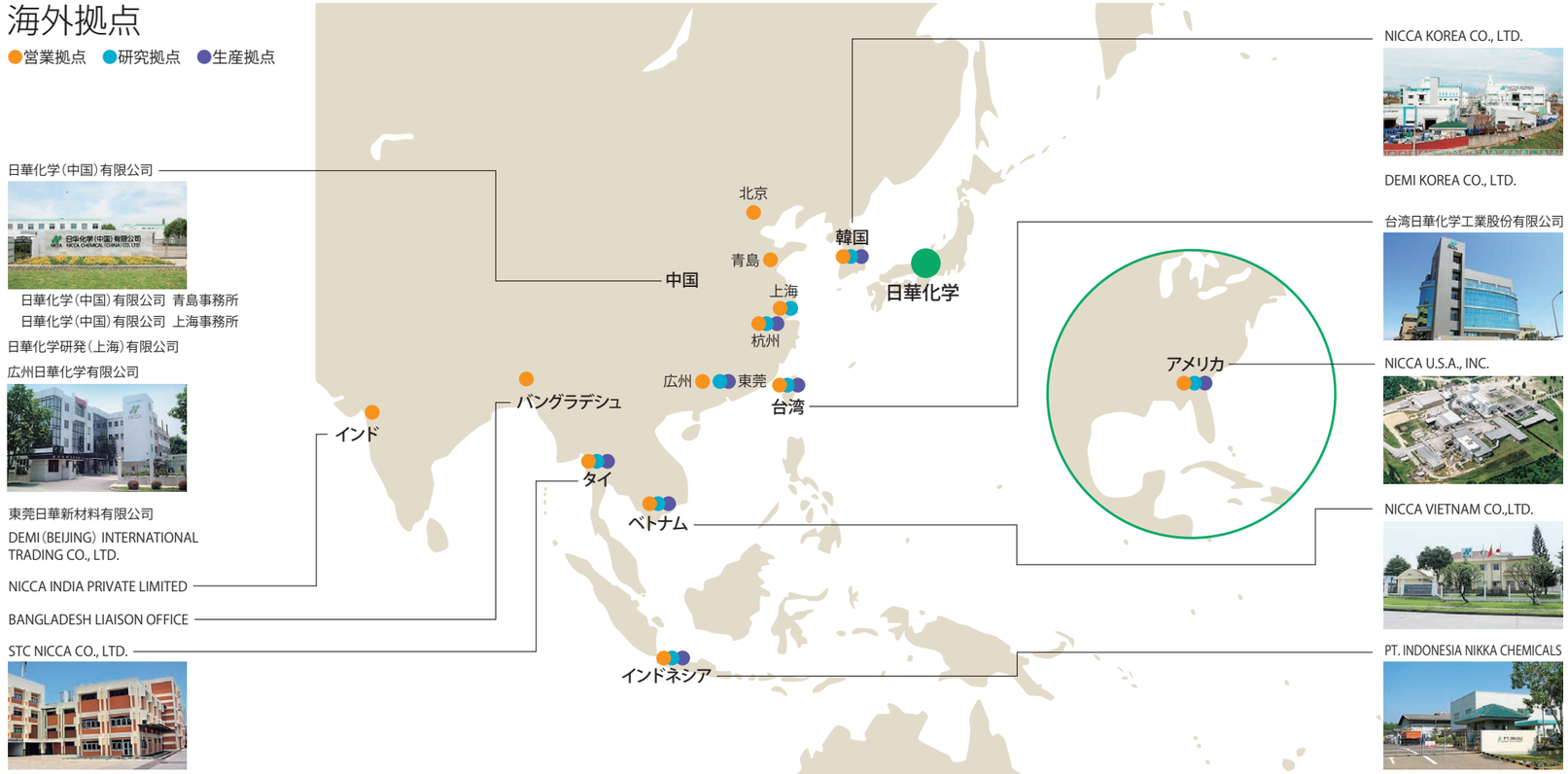
化学品、化粧品ともに、オートメーション生産だけではなく、少量多品種生産にも対応すべく、機能的な生産設備や優れた品質管理によって、合理的でフレキシブルな生産システムを構築しています。ISO9001取得はもちろんのこと、化粧品工場においてはグループ会社の山田製薬の工場とともにISO22716も取得し、グループ全体にわたり高度な管理体制で製造を行い、計画管理された安全・安心な製品をグローバルに安定供給しています。

生産活動における環境負荷低減

お客様の環境負荷低減に貢献できる製品開発を推進するとともに、生産活動においても、地球温暖化防止や省エネルギー、廃棄物・有害化学物質の削減などに取り組み、事業活動のすべての段階での環境負荷低減に努めています。排水・使用電力等の大幅削減を図るほか、カーボンオフセット等にも取り組んでおり、ISO14001を取得しています。

国内拠点

●営業拠点　●生産拠点

海外拠点

●営業拠点　●研究拠点　●生産拠点